

間違っていない？

子どもの健康ケア

発熱の対応

監修

大川子ども&内科クリニック
院長 大川 洋二

基本は安静にするのがよいですが、**38度以上で機嫌が悪ければ身体を冷やす**対応をします。機嫌がよく、水分がとれていれば心配ありませんが、顔色が悪い、呼吸が苦しそう、水分がとれないときは早めに受診します。けいれんが15分以上続いたり、繰り返すときは緊急に受診したほうがよいでしょう。



子どもが熱を出したとき、
どうしたらいい？



発熱したときの対応

● 身体を冷やす

衣服や布団は普段より1枚少なめを目安に。嫌がらなければ、首の後ろや足の付け根、脇の下を冷やします。38.5度以上でつらそうなときは、医師の指示に従って解熱剤を使用してよいでしょう。

● 水分をとる

こまめに水分を与えます。水や麦茶、ミルクなど飲めるものでよいですが、食事がとれないときは経口補水液がよいでしょう。食事は、消化がよく食べやすいもの(おかゆや麺類など)にします。

子どもの急病で対処法や
緊急に受診するか迷うときは…

- **こどもの救急 (ONLINE-QQ)**
<https://kodomo-qq.jp>
日本小児科学会作成のホームページ
- **こども医療でんわ相談 #8000**
小児科医や看護師が対応する自治体の相談窓口